

スクールソーシャル ワーカー(SSW)

対象の幸せを想う気持ちはみんな一緒

基本機能

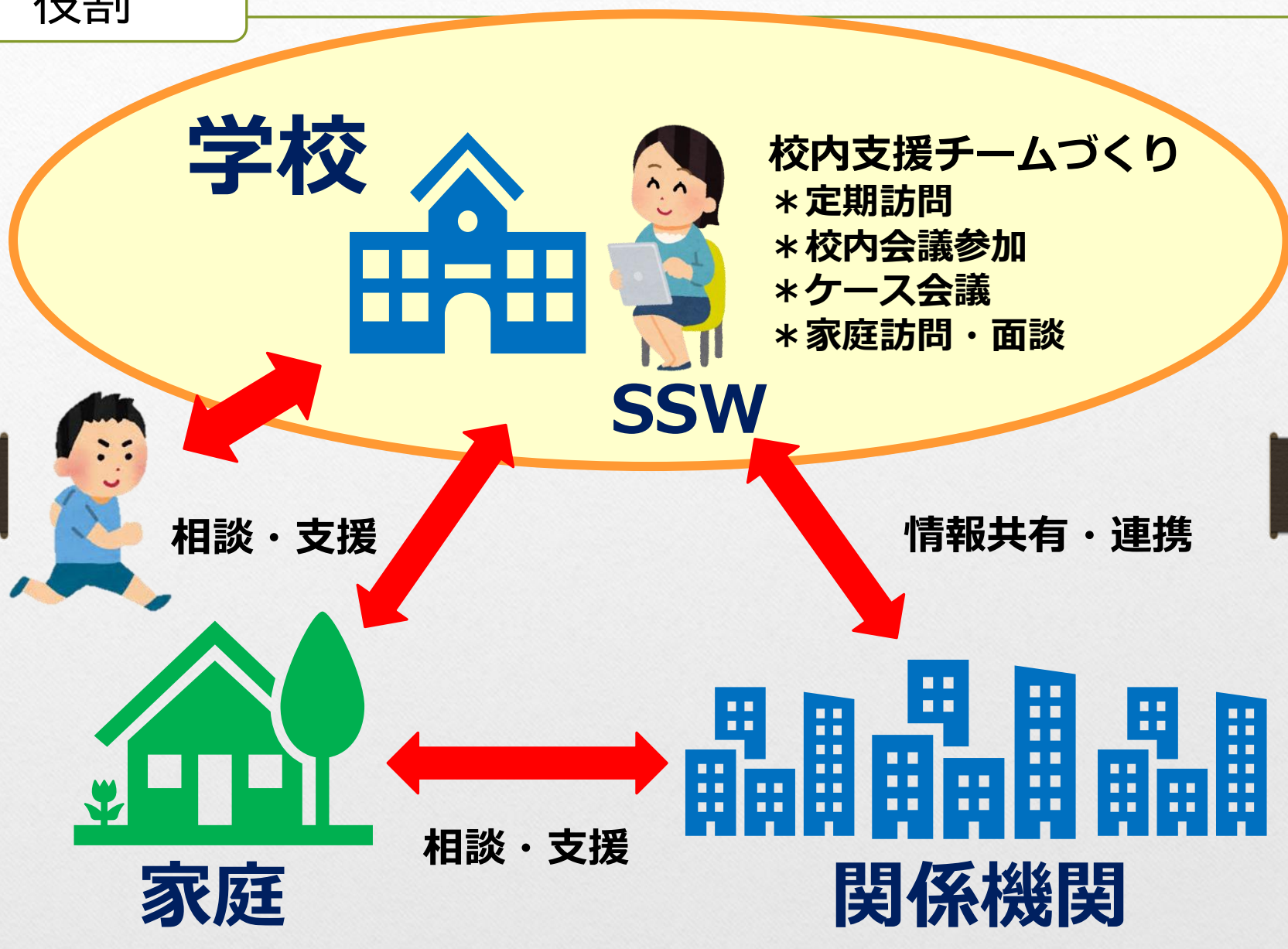
1 制度上の位置づけ

- ▶ 学校教育法施行規則
「スクールソーシャルワーカーは、小学校における児童の福祉に関する支援に従事する（中学校も準ずる）」
- ▶ 社会福祉士、精神保健福祉士等の福祉に関する専門的な資格を有する者、福祉や教育の分野において専門的な知識・技術を有する者とされている。

2 規定する支援対象者

- ▶ 学校生活上の課題を抱える小・中学生、その保護者、教職員。
不登校・発達上の課題・家庭環境・いじめ・虐待・心身の健康・保健に関すること・・・など

役割



特徴

🌸 学校には情報が点在している

- ・ 5名のSSWが1人あたり3中学校区を担当し、中学校には定期訪問（2週に一度）、小学校には随時訪問し活動している

🌸 校内・校外連携した支援チームを整える

- ・ 「チーム学校」の中で、SSWは唯一の福祉職であり校内会議やケース会議で専門的助言・提案、福祉制度の周知を行う
- ・ 学校と関係機関とのかけはしとなりネットワークを構築する

🌸 学校（教育現場）を拠点にSWを行う

- ・ 学校文化・ルールにあわせて支援を組み立てる
（教職員の専門性、校内体制、行事・学期ごとの目標設定等）
- ・ 子どもや保護者と面談・家庭訪問するだけでなく、子どもと日々関わる先生方を支援（サポート）することが重要

🌸 協働のためのワンポイント 🌸

SSWは**先生と一緒に**学校生活上の課題に対応します！